

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業名	エイズ検査・予防啓発					所管	健康部 保健予防課	
	行政計画	事業NO.	—	計画事業名	(行政計画外事業)	事業の開始・終了年度		
事務事業の概要	長期総合計画体系	[基本目標]					[事業開始] 昭和62年度	
		[小 柱]					[終了予定] - 年度	
		[施 策]						
根拠法令等	法令(義務)	[法令等名]	感染症の予防および感染症の患者に関する法律					
事業対象	HIVに感染の心配がある方等。また一般区民。							
事業目的	HIV/エイズに関する相談・検査を実施することで、早期発見・早期治療、蔓延防止等に努める。また、中学校・高等学校で感染症の講演会を実施することにより、若年層にエイズ等性感染症の予防に関する知識を啓発する。							
事業内容	①匿名・無料でのHIV抗体即日検査を月2回実施する ②希望する区内の中学校・高等学校において、エイズ予防に関する講演会を実施する ③12月1日の「世界エイズデー」に因んだ街頭キャンペーンを、協力してくれる学校と一緒に実施する ④「新成人を祝う会」でグッズを用いてエイズに関する知識を啓発する							
委託の有無	一部委託	委託内容	学校でのエイズ予防啓発の講演会					
補助金の有無	国							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	25年度	26年度	27年度	
	活動指標	世界エイズデー展示等	(ヶ所)	7	5	7	7	
		中学校・高等学校講演会実施数	(校)	7	4	6	6	
	成果指標	HIV抗体検査実施数	(件)	825	655	874	789	
		中学校・高等学校講演会参加人数	(人)	900	583	682	722	
	決算額	(単位：千円)			2,841	3,101	3,079	
	事務事業コスト	人にかかるコスト(人件費など)			8,096	7,396	7,940	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			2,841	3,091	3,075	
		(単位：千円) その他のコスト(扶助費・補助費など)			0	10	5	
		総経費			10,937	10,497	11,020	
財源項目	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
	(単位：千円) その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			1,395	1,575	1,654		
	一般財源(区負担額)			9,542	8,922	9,366		
前回評価から改善した事項	世界エイズデーの街頭キャンペーンでは、新たに短期大学の協力を得てコーラスのイベントを実施し、通行者が立ち止って目を向けて貰えるようにした。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	HIV感染者の早期発見は個人としては早期治療、社会的には感染拡大防止に結びつくため、検査は継続して実施していく必要がある。学校での講演会は性行動が活発になる前の世代に働きかけることで、知識の普及と感染拡大の防止を行うことが出来る。					
	効率性	3	平成26年度からはHIV抗体検査のみを検査項目とし、1日あたりの予約数を50名で実施している。予約枠の拡大に伴い検査従事者数を増やして対応しているが、利用者数も増加しており効率性に変化はないと考える。講演会の依頼校数は変わらないが、生徒の在籍数で参加人数が増加している。					
	手段の適切性	3	検査は即日で結果が出るため、受検者に確実に結果を説明することができている。講演会は各学校の要望に対応した内容を委託機関に実施して貰い、好評価を得ている。					
目的達成度	3	27年度は789名が検査を受け、そのうち5名に陽性の結果が出ている。その方たちには確認検査を実施した後専門医療機関を紹介し、受診に繋がっていることが確認できている。本事業がHIV感染のまん延防止に役立っていると考えられる。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
HIV即日検査については26年度よりも受検者が減少しているが、利用率は70%を超えている。若年者へのHIV・エイズ及び性感染症に関する知識の普及啓発には学校などでの講演会が有効であることから、引き続き実施していく。検査内容、情報提供については検討していく。					維持			